

水 泥 新 聞

第三六号
2017年平成29年12月5日



編集

フジクリーン工業株式会社

〒四六四・八六二二

愛知県名古屋市中千種区今池

四丁目1番4号

TEL

〇五二・七三三三・〇三二五

2号連続特集

設立60年を迎えた フジクリーンの 歴史を紐解く



里川ハタル

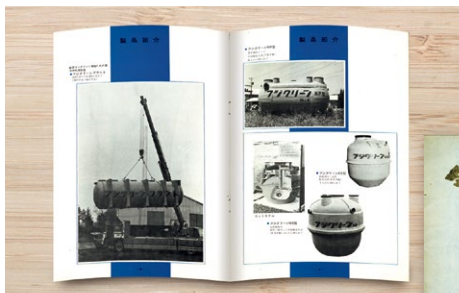
フジクリーンの母体となった渡辺商店がうぶ声をあげてから、今年で60年。セメントの卸に始まり、小型合併浄化槽の研究開発。そして、最先端の水処理技術で水環境改善活動に取り組み現在まで、どのような転機があったのか……。2号連続で、60年の軌跡を辿る。



▲当時の(株)渡辺商店

1957年～ セメントの販売 から浄化槽の 製造をスタート

名古屋に日本初の本格的な地下街がオープンした



▲富士浄化装置工業の会社案内(1970～1974年)

当時を知る社員の声

高度成長とともに生活の質が向上し、水洗トイレのニーズも高まっていました。しかし、下水道の整備がまだまだ途上の地域も多かったため、コンクリート製単独浄化槽の製造に着手。当時はその大きさと重さから、スムーズな運用までたいへん困難を極めました。



▲渡辺産業(株) 経理部長 鈴木賢治

1957年。現在の愛知県知立市で渡辺商店はセメントや生コンクリートの卸を営んでいた。当時、U字溝などのコンクリート二次製品の製造も手がける中、その技術を生かして始めたのがコンクリート製単独浄化槽の製造だった。

当時を知るOBの声

単独浄化槽の販売が好調だったため、合併浄化槽への方向転換には社内外から疑問視する声があがったのも事実です。しかし、このまま単独浄化槽の製造を続ければ、水環境の悪化は明らかだと一大決心。業界として初めて、単独浄化槽の製造・販売の中止を発表しました。



▲フジクリーン工業OB (2010年退職) 鈴木弘さん

工場排水による公害が一段落し、人々の関心が環境保護に移りつつあった80年代。単独浄化槽は、トイレ以外の生活排水を未処理のまま、河川に垂れ流し……。このままでは、生活排水により公域の水質が悪化する一方だと感じたフジクリーンは、1980年に家庭用合併浄化槽の開発をスタート。

1980年～ 単独浄化槽から 合併浄化槽へ 舵を切る



▲1970年に発売が開始された単独浄化槽の元祖、N型のカタログ

当時を知る社員の声

現在の合併浄化槽に比べると、小型と呼ぶには大きすぎた印象。当時は出荷基数も少なく、販売も苦戦しました。浄化槽協会の企画で一般家庭にモニター設置した際には、行政をはじめ全国から多くの見学者が訪れたことを今でもよく覚えています。



▲総務部 マネージャー 三部秀行

トイレに加え炊事や洗濯、風呂などの生活雑排水も処理しなければならぬ合併浄化槽の開発は、困難と言われた時代。果敢に開発に取り組んだ結果、1984年に日本初の量産型小型合併浄化槽K型を、その翌年には新たな処理方式を採用し、K型をさらに小型化したLX型を発売。水環境の改善に先鞭をつけたLX型は、「第14回環境賞優良賞」が授与されるなど各方面から賞賛の声があがった。1987年には、環境省より合併浄化槽普及促進のための補助金制度が公布されるなど、行政も積極的な取り組みを始めた。

1984年～ 日本初の 量産型小型合併 浄化槽を発売

(2)

水 泥 新 聞

2017年(平成29年)12月5日 火曜日 発行

フジクリーンの礎を築いた20世紀 1957年～2000年の歩み

西暦	フジクリーンの出来事	社会の出来事
1957年 (昭和32年)	●資本金100万円で、愛知県碧海郡知立町(現知立市)に(株)渡辺商店を設立。建材商事会社として、セメントの卸を始める。  ▲当時の(株)渡辺商店(1957年)	●100円硬貨、5千円札発行。 ●テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫が三種の神器に。
1961年 (昭和36年)	●愛知県碧海郡知立町に富士コンクリート工業(株)を設立。	●1960～1972年にかけて、大気汚染・水質汚濁が広がる。*
1970年 (昭和45年)	●富士コンクリート工業(株)から富士浄化装置工業(株)に社名変更。 ●FRP製浄化槽の開発、スプレーガンの発明に成功する。 ●初代FRP製浄化槽、腐敗式単独浄化槽、N型を発売開始。  ▲初代FRP製単独浄化槽N型販売(1970年)	●公共用水域の水質汚濁防止に関する法律「水質汚濁防止法」が12月に公布(1971年6月施行)。*
1973年 (昭和48年)	●名古屋市千種区に渡辺ビルを建設し、富士浄化装置工業(株)本社を移転。  ▲日本社の社屋(1973年)	●第4次中東戦争勃発でオイルショック。物価急上昇で、トイレトーパーや洗剤などの買ひだめ騒動が起こる。
1974年 (昭和49年)	●富士浄化装置工業(株)からフジクリーン工業(株)に社名変更。 ●海辺の別荘地の生活排水処理施設として大型合併処理装置が採用されたが、道中が隘路の為、管体のトラック搬送ができず、ヘリコプターによる4本の管体の現場搬入を行う。  ▲ヘリコプターで空輸されるFRP製の管体(1974年)	●巨人、長嶋茂雄さんが現役引退。 ●ガッツ石松さんがボクシング世界チャンピオンに。
1976年 (昭和51年)	●FRP製管体の柱付(I型)構造の特許取得。	●モントリオール五輪で、体操男子団体が5連覇。 ●ロッキード事件。
1980年 (昭和55年)	●高置水槽・受水槽を開発・発売。 ●小型合併浄化槽の研究、電磁ブロウの開発をスタート。  ▲設置された高置水槽(1980年)	●日本の自動車生産台数が世界第1位に。
1982年 (昭和57年)	●管体自動成形機、管体自動加工機の開発・稼働。  ▲管体自動成形機(1982年)	●東北新幹線、上越新幹線開業。 ●ソニーが世界初のCDプレーヤー「CDP-101」を発売。
1983年 (昭和58年)	●FRP製浄化槽の仕切板一体型のプレス機を導入し、独自製法を確立。  ▲管体自動加工機(1982年)	●東京ディズニーランド開園。 ●TVドラマ「おしん」(最高視聴率62.9%)が社会現象に。
1984年 (昭和59年)	●建設大臣一般認定を受け、量産型小型合併浄化槽K型(分離接触ばっ気方式、5・7・10人槽)を発売。日本初の量産型小型合併浄化槽として、性能認定取得。  ▲管体自動加工機(1982年)	●1万円(福澤諭吉)・5千円(新渡戸稲造)・千円(夏目漱石)の新札発行。 ●グリコ・森永事件。
1985年 (昭和60年)	●車1台分のスペースの小型合併浄化槽LX型(嫌気ろ床接触ばっ気方式、5・7・10人槽)を開発・発売。建設大臣認定取得。  ▲LX型(1985年)	●浄化槽法 全面施行。*
1987年 (昭和62年)	●小型合併浄化槽LX型に対して「第14回環境賞 優良賞」が授与される。  ▲第14回環境賞 優良賞(1987年)	●国鉄が民営化され、JRグループ7社が発足。 ●環境省 合併処理浄化槽普及促進の為、国庫補助金制度 創設。*
1989年 (平成元年)	●本社ビルを旧本社社屋跡地に建設。  ▲新本社の社屋(1989年)	●昭和天皇崩御、昭和から平成に。 ●消費税3% 施行。
1994年 (平成6年)	●窒素除去型LR型(沈殿分離嫌気ろ床接触ばっ気方式、5・7・10人槽)を開発・発売。  ▲LR型(1994年)	●日本人初の女性宇宙飛行士、向井千秋さんが宇宙へ。 ●オウム真理教による松本サリン事件。
1998年 (平成10年)	●水環境研究所 開設。  ▲水環境研究所 開設(1998年)	
2000年 (平成12年)		●循環型社会形成推進基本法 施行。* ●浄化槽法 改正(単独浄化槽の新設禁止)。*

2001年～現在は次号(第37号)で紹介

★・・・浄化槽にかかわる出来事

歴史を物語る 社内報と広報誌の創刊号

社報 わたなべ



1963年創刊
「人」の向上と「団結」の推進を目的に創刊。社員の楽しみや心のよりどころとしての役割も果たす。

フジクリーンニュース(現「水の話」)



1974年創刊
社名をフジクリーン工業株式会社に變更した年に創刊した広報誌。親しみやすいレイアウトが好評を博す。

ベテラン社員が語る 入社当時の思い出

入社してすぐの冬、松江市営住宅の現場に3か月常駐しました。夜明け前、管体(2500φ)がトラックに積まれ搬入される様子を見たときのことは、今でもよく覚えています。それは潜水艦のように大きく、圧倒されました。それ以来、管体に惚れ込み、60歳を過ぎた現在も大型浄化槽の営業を中心に取り組んでいます。



▲営業部 大坪雅文
1980年入社。下水道クイックプロジェクトの推進活動と、大型浄化槽・産業廃水処理ユニットの販売を牽引。